

## 第7回 韓国ミッション・スタディー青年ツアー のお知らせ（第2信）

主の豊かな恵みのもと、諸教会・伝道所のみなさまにおかれましては、ますます主の働きにお励みのことと存じます。さて、第1信でお知らせしましたように、下記の日程で第7回韓国ミッション・スタディー青年ツアーを行います。

日々韓国との関係が報道されている中で、実際に人々が出会うことなく、イメージだけが先行しがちです。このような時だからこそ、主イエスに導かれながら歴史を知り、出会い、交流していきたいと思えます。連盟の中長期大綱『和解のつとめに仕える』に基づいて行うこの旅が、参加者と、送り出して下さる教会にとって、アジアにおける宣教と協働の経験を深める機会となれば幸いです。（第1信より）

申し込みの締め切りは11月30日（月）必着となります。ファックスでも構いませんが、申込用紙とパスポートのコピーは必ずご提出ください。また、申し込み時点でパスポートを取得しておいてください。締切後、航空券の手配をいたします。ぜひ、貴教会・伝道所の青年をこのツアーへとお送りください。

主にあつて。

### 2020年2月27日【木】～3月2日【月】

4泊5日の旅

- 訪問地・・・韓国・ソウル（出発地は福岡、東京を予定）
- 募集人員・・・10名（バプテスト連盟加盟教会の青年会員 18歳以上 35歳まで）
- 参加費・・・個人負担約 **50,000円**

世界祈祷献金により補助された特別費用です。

参加費に含まれるもの：航空券（日本-韓国の国際線分）、宿泊、海外旅行保険、現地での食事、施設入場費。

日本国内交通費は自己負担ですが、往復1万円を超えた分が補助されます。

- 歴史の現場訪問予定地、スケジュールは裏面をご覧ください



...**申込み締切 2019年11月30日**

●お問い合わせは国外伝道室までお願いいたします。●

国外伝道室：井形・丁野 Tel・・・048-883-1091

申込用紙は、8月21日発送の第1信もしくはホームページからダウンロードしてください

## 韓国ミッションスタディ青年ツアー 日程表 (案)

	2月27日 (木)	2月28日 (金)	2月29日 (土)	3月1日 (日)	3月2日 (月)
	7:00				
	7:30	起床・洗面	起床・洗面	起床・洗面	起床・洗面
	8:00	ディボーション	ディボーション	ディボーション	分かち合い
		朝食	朝食	朝食	朝食
	9:00	移動	移動	移動	派遣礼拝
	9:30		移動		
	10:00	タブコル公園と3・1 運動の道を辿る	西大門刑務所 歴史博物館	主日礼拝 (ヒャンリン教会) 香隣教会	移動
	11:00				
	12:00	昼食	昼食	昼食	空港にて昼食
	12:30				
	13:00	移動	戦争と女性の人権 博物館	ヒャンリン教会の 青年たちと話し合い	
	13:30				
	14:30	提岩里教会 歴史館	移動		
16:30	ホテル到着				16:00
	16:00	開会礼拝& オリエンテーション	少女像 (平和の碑) の前で和解のための 祈り会	ヒャンリン教会の 青年たちと 韓国の街を歩く	17:00
	18:30	夕食	夕食		18:00
	19:00	移動	夕食	買物	
	20:00	平和のための祈り会	分かち合い 祈り会		19:30
	21:00	分かち合い		フリータイム	21:00
	21:30	移動	フリータイム		
	22:30	フリータイム	フリータイム		22:00
		就寝	就寝	就寝	祈禱会
					就寝
					23:00

\*現地状況によっては時間や日程が少し変更することがあります。

\*一部のプログラムは韓国の青年たちと一緒に進めるように調整中です。確定次第お知らせします。

### ■訪問先の説明

■**タブコル公園と周りの遺跡**: 三・一独立運動の発祥地で、ここで独立宣言書が読み上げられたところ。周りの壁には独立運動の様子が立体的に分かる書版がある。さらにその周りには三・一独立運動の遺跡を辿る

■**提岩里教会**: 植民地支配下で起きた三・一独立運動(1919年)が全国に広がっていく中で、京畿道華城市の提岩里教会にて日本軍が村の人々を教会に集めて虐殺してから教会に火をつけた事件が起きた場所。

■**西大門刑務所**: 日本の朝鮮総督府が建てた刑務所で、朝鮮の独立運動家をおもに収監し、弾圧した。解放後も近年まで韓国の民主化運動のために捕らえられた政治犯が収監された刑務所。植民地時代の刑務所として唯一保存され、公開されている。

■**戦争と女性の人権博物館**: 元日本軍「慰安婦」の歴史に対して日本政府の謝りと問題解決を訴えるための水曜デモが1992年1月8日始まりますが、その働きの中から高齢化して亡くなりつつあるハルモニたちの痛みの歴史を人権の視点から伝えるために、2002年博物館の建立計画が立てられ、日韓の市民たちの募金によって2012年に建てられた歴史博物館。

■**戦争と女性の人権博物館**: 元日本軍「慰安婦」の歴史に対して日本政府の謝りと問題解決を訴えるための水曜デモが1992年1月8日始まりますが、その働きの中から高齢化して亡くなりつつあるハルモニたちの痛みの歴史を人権の視点から伝えるために、2002年博物館の建立計画が立てられ、日韓の市民たちの募金によって2012年に建てられた歴史博物館。

■**少女像(正式名「平和の碑」)**: 2011年11月14日、水曜デモの1000回の集会を記念としてデモが行われる在韓日本大使館の前に建立した平和の像。20年を超えるデモにも拘わらず、日韓政府はハルモニたちを排除して15年12月28日の「日韓慰安婦問題合意」を交わし、韓国政府が少女像の撤去に触れたことで大きな問題となっている。

■**香隣教会**: 朝鮮戦争が終わった1953年廢墟地のソウルに安炳茂など12人の信徒を中心に韓国社会に新しい信仰共同体を示そうと始められた。150人程度の規模でそれ以上となると株分けをして「開拓」<sup>ひゃんりん</sup>伝道を行っている。礼拝の奏楽に民族楽器を用いたり、主の晩さんでは韓国の伝来のお餅を用いたりして、民族文化を積極的に礼拝に取り入れている。民衆教会や、外国人労働者、農村宣教、南北統一・人権宣教などに働きかけている教会。  
※「開拓」伝道の「開拓」という言葉には、北海道の先住民の人権や問い返さなくてはならないテーマが含まれていますので、宣教部ではかぎっこ「」を付けて使用しています。